

無人航空機に求められる安全基準策定のための研究開発（産業規格化のための無人航空機の飛行試験方法案の策定）事業に係る業務委託(外注)仕様書

1 目的

本仕様書は、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構（以下、「甲」という。）が、一般財団法人日本海事協会から受託した「無人航空機に求められる安全基準策定のための研究開発（産業規格化のための無人航空機の飛行試験方法案の策定）事業」における、JIS素案「無人航空機の機能及び性能に関する要求事項」の中で飛行試験が必要とされる項目について、受託者（以下、「乙」という。）に委託する業務の内容と要領を定めるものである。

2 業務の内容

（1）委託事業名

無人航空機に求められる安全基準策定のための研究開発（産業規格化のための無人航空機の飛行試験方法案の策定）事業に係る業務委託(外注)

（2）業務の内容

- ① JIS 素案「無人航空機の機能及び性能に関する要求事項」の「4.1.4 運用の制限」及び「4.2.1 離着陸及び飛行」に基づき甲が作成した飛行試験方案に従い、乙は試験の実施とデータ取得を行うこと。
- ② 飛行試験に必要な測定機器及び飛行場所は甲が用意するものとするが、飛行試験に供する無人航空機については、乙が自ら設計製造している機体を使用すること。なお、使用する無人航空機はマルチコプター式の機体とする。
- ③ 乙は甲の監督下で飛行試験を実施することとし、乙の判断で飛行試験の実施方法を変更してはならない。
- ③ 甲が飛行試験法案を作成する際に、乙は無人航空機的设计製造者として技術的な観点での支援を行うこと。
- ④ 成果物の作成
 - ・ 試験結果
乙は①の飛行試験により得られた測定データを試験結果として纏めること。
 - ・ 考察
乙は①の飛行試験により得られた測定データに基づき、飛行試験方案に示される要求事項に対する適合性を考察すること。また、飛行試験全般を通して、乙は甲が作成した試験法案の適切性（試験条件、測定機器、試験手順、測定データ及び合否基準等）について考察し改善点を提案すること。
 - ・ 中間報告
乙は成果物の作成にあたり、その中間段階を甲に報告すること。
（報告時期：試験終了後、2週間以内）

(3) 実施期間

契約日から令和4年1月21日

(4) 納品成果品

- ・ 成果報告書
- ・ 業務内容をすべて実施したことを示す資料
- ・ 測定データ、トレランス（実施した試験の公差）
- ・ 考察

紙媒体1部（正本1部）、電子媒体1部（CD-ROM等）

(5) 監督行為

本業務が仕様書に基づき履行されているか、甲が監督（試験立会等）を行う。

(6) その他

- ・ 納入された成果物については、原則公開とする。（ただし、甲が受託者となっている一般社団法人日本海事協会事業指示において非公開となる箇所は除く。）
- ・ 本仕様書に定めのない事項については、別途協議により決定する。
- ・ 各種飛行試験の実施場所は福島ロボットテストフィールドとする。
- ・ 福島ロボットテストフィールドの施設使用料は本業務委託には含まない。

以上